

Title	表紙・編集後記・目次
Author(s)	
Citation	英文学評論 (1959), 6
Issue Date	1959-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/134920">http://hdl.handle.net/2433/134920</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

# 英文學評論

## 第 VI 輯

悦しき知識	深瀬基寛
ヤングの『夜の随想』	村上至孝
ブラウニングの詩心	中野正順
孤塔の詩人イエイツ	大浦幸男
ユージン・オニールの『夜への長い旅路』	山内邦臣
古典と教育	角倉康夫
アーノルドとアメリカ	川田周雄

京都大学教養部英語教室

目次

悦しき知識……………	深瀬基寛……………(一)
ヤングの『夜の随想』……………	村上孝……………(二〇)
ブラウニングの詩心……………	中野正順……………(二七)
孤塔の詩人イエイツ―その一……………	大浦幸男……………(三五)
ユージン・オニールの『夜への長い旅路』……………	山内邦臣……………(九)
——その悲劇性の構造について——	
古典と教育……………	角倉康夫……………(三四)
アーノルドとアメリカ……………	川田周雄……………(四〇)

## 編輯後記

▲本誌創刊のとき題字を書いて下さった深瀬基寛教授は、昨秋十月十二日停年退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。大正の末、第三高等学校教官に就任されてから三十数年の長きにわたって、数千名に及ぶ学生を薫陶され、山本修二名誉教授と共に敬愛の的となつて来られた。京大教授となられてから、一時健康を害われたが、終始後学の指針となられた。さき上梓された『英国の詩論』にしても『十七世紀の思想的風土』にしても、その御指導によるところが極めて大きい。

御退官後は南山大学教授として御出講のかたわら、閑静な洛西衣笠山麓の書齋にあつて、依然として筆硯に親しみながら、時に北野神社界限の散策を兼ねておられる。

本輯は御退官記念講義で巻頭を飾ることができた。筆写の勞は京大大学院学生尾崎寄春君の厚意によるものである。

▲深瀬教授を送るにあたり、それぞれ御多忙のところを御苦心の稿を寄せて本輯の編輯を助けられた諸氏に深く謝意を表したい。

▲一年有余にわたり、主としてエール大学で研究をつづけて居られた川田周雄氏は、帰途ヨーロッパ各地を巡遊し、地中海・印度洋の長い船の旅をつづけて、深瀬先生の御退官直前に元気で帰学せられた。

▲本年度は二月に松下千吉講師を迎えた。キーツに深い関心を寄せる新進有為の士である。  
(編輯委員)

## 英文学評論 第六輯

非売品

昭和三十四年三月十五日 印刷  
昭和三十四年三月二十日 発行

編輯者

京都大学教養部英語教室  
代表者 池田義一郎

印刷所

内外印刷株式会社  
京都市下京区西洞院七条下ル

発行所

京都大学教養部英語教室  
京都市左京区吉田二本松町

# REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

VOL. VI. March 1959

---

## CONTENTS

Gay Science.....	<i>Motohiro Fukase</i>
Young's <i>Night Thoughts</i> .....	<i>Shiko Murakami</i>
On Browning's Poetic Mind .....	<i>Masanori Nakano</i>
W. B. Yeats, Poet of the Lonely Tower.....	<i>Yukio Oura</i>
Eugene O'Neill's <i>Long Day's Journey into Night</i> —On the Structure of its Tragicity— .....	<i>Kuniomi Yamanouchi</i>
Education and the Classics .....	<i>Yasuo Kadokura</i>
Arnold and America .....	<i>Kaneo Kawata</i>

---

ENGLISH DEPARTMENT  
COLLEGE OF LIBERAL ARTS  
KYOTO UNIVERSITY